

《企業紹介》

同社はベトナムでユニバーサルバンキングサービスを展開する銀行で、大手4行（ベトナム投資開発銀行、ヴィエティンバンク、ベトナムバンク、アグリバンク）の一角を占める。国内銀行の総貸出残高は3位（2023年12月末時点）となっている。同社の強みとしては、国際的な信用調査機関からベトナム国内の銀行の中で最も高い信用評価を得ていることが挙げられよう。

1963年4月にベトナム国立銀行の外国為替部門がスピノフして設立され、1990年に外国為替専業銀行から商業銀行へ転換、その後事業の多様化を進めて2009年に民営化企業として初めての株式公開している。2011年にみずほ銀行と戦略提携し、みずほ銀行は同社の株式の15%を保有している。

《2025年1-3月期業績》

2025年1-3月期の営業収入（以下、収入は全て費用を差し引いた純額）は前年同期比0.1%減の17.2兆VND（ベトナムドン）となった。金利収入が同2.8%減の13.6兆VNDとなって足を引っ張っている。貸出債権が同16.0%増の1,433兆VNDとなったが、資金調達コストの上昇が貸出債権から収入の増加を上回り、預貸利ザヤが悪化した。手数料収入も、金融サービスの需要不振に加えて競争激化によって採算が悪化したため、同44.1%減の8,060億VNDと大きく減少した。一方、その他収入は、外国為替売買益の大幅な増加によって同57.4%増の2.7兆VNDとなっている。政策金利引き下げの影響が一巡し、預貸利ザヤの改善が期待されていたが、競合他社との貸出競争激化により、その発現は遅れているようである。

税前利益は同1.3%増の10.8兆VNDだった。営業費用が同11.8%増の5.6兆VNDとなったが、貸倒関連費用が同50.1%減の7,524億VNDと減少したため、税前利益は増益に転じた。税引後利益は同1.4%増の8.6兆VNDとなった。貸出債権残高の増加に対して貸倒関連費用が減少したため、貸倒比率は0.2%まで低下している。資産の安全性は極めて高い水準を維持しているといえよう。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2024年1-3月期		2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	17,280.4	-6.7	16,751.6	-4.1	16,836.0	6.7	17,710.6	11.0	17,264.7	-0.1
(うち金利収入)	14,078.1	-0.9	13,907.7	-0.8	13,577.6	7.8	13,842.3	8.1	13,687.2	-2.8
(うち手数料等収入)	1,441.6	-1.0	1,499.0	-7.6	1,272.3	42.8	923.8	-49.0	806.0	-44.1
(その他収入)	1,760.8	-38.4	1,344.9	-26.4	1,986.1	-13.3	2,944.4	118.5	2,771.6	57.4
営業費用	5,053.9	-4.2	5,121.8	-9.4	5,811.4	11.1	7,040.2	22.4	5,652.4	11.8
貸倒関連費用	1,508.2	-25.4	1,513.5	-40.3	325.6	-78.2	-32.3	-	752.4	-50.1
税前利益	10,718.2	-4.5	10,116.3	9.0	10,698.9	18.2	10,702.7	-8.5	10,859.9	1.3
税引後利益(株主帰属分)	8,580.0	-4.5	8,119.4	9.4	8,566.6	17.9	8,565.4	-8.4	8,696.2	1.4
貸出債権残高	1,235,587	8.2	1,334,762	17.1	1,366,088	18.7	1,418,037	14.2	1,433,896	16.0
貸倒比率(年換算、%)	0.5	-	0.5	-	0.1	-	-0.0	-	0.2	-

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額

注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20250513

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

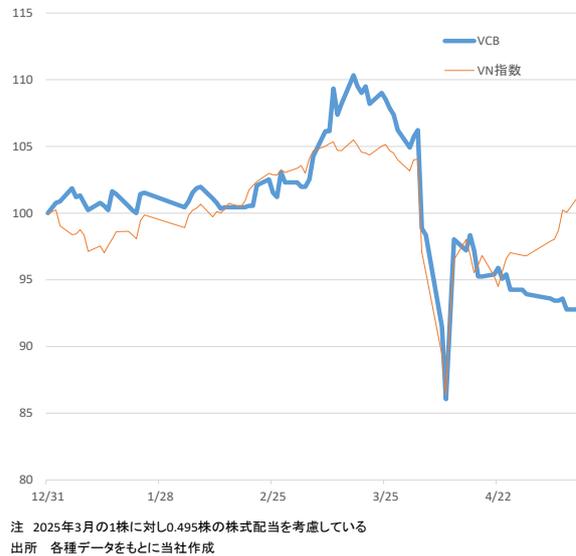
《株価の推移》

同社の株価とVN指数の2024年終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。年初からの同社の株価の動きはVN指数と概ね連動したものととなっている。5月12日終値時点でVN指数が2024年末比1%の上昇、同社の株価は7%の下落(3月の1株に対し0.495株の株式配当を考慮後)となっている。5月12日終値56,600VNDで計算した時価総額は472兆VNDで、これは2024年12月期実績の税引後利益33.8兆VNDに対して14倍となっている。

預貸利ザヤの改善と貸出債権残高の増加が両輪となった利益成長が期待されていたが、2025年1-3月期実績は期待に応える結果ではなかったことが、株価のパフォーマンスに影響したと考えられる。また、

米国の通商政策の大幅な変更は、ベトナムの景気減速、ベトナムドンの対ドルレートの変動、それに伴う金融政策の混乱などを通して間接的に大きな影響をもたらすリスクがあり、これも株価のパフォーマンスに影響していると考えられる。その一方、中長期的な視点に立てば、貸出債権に対する強い需要が続いており、ベトナム経済が目先のリスク要因を克服し、世界でも屈指の成長ペースを維持できれば、同社の利益水準の上昇は続くことが期待される点も考慮する必要があるだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250513

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したのですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。